

平成30年度苫小牧市統一学力検査の結果

1 検査の概要

(1) 実施日

平成30年4月17日(火)

(2) 調査対象

市内小学校第5学年

(3) 検査内容等

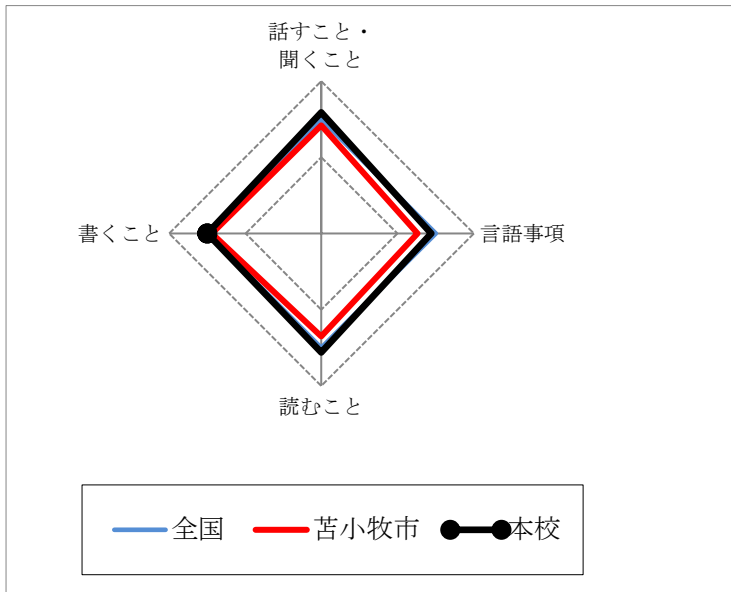
- ① 国語科及び算数科の2教科の学力検査を実施(出題範囲は前学年の学習内容)
- ② 全国学力調査(集団準拠評価)を実施

2 本校の結果と考察

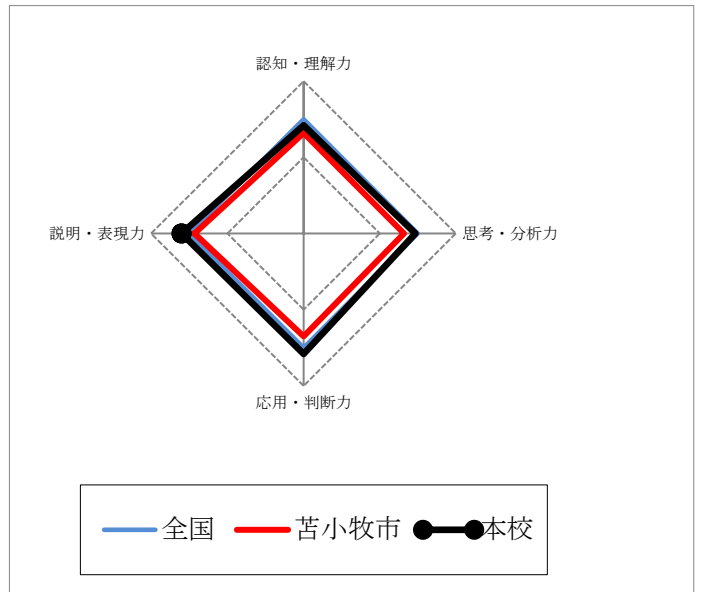
(1) 国語科

① 領域別(※1)及び能力別(※2)の偏差値SS(※3)における全国との比較

【領域別】

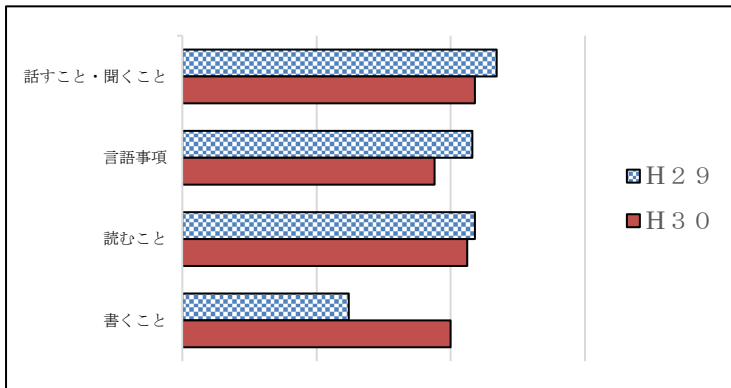


【能力別】

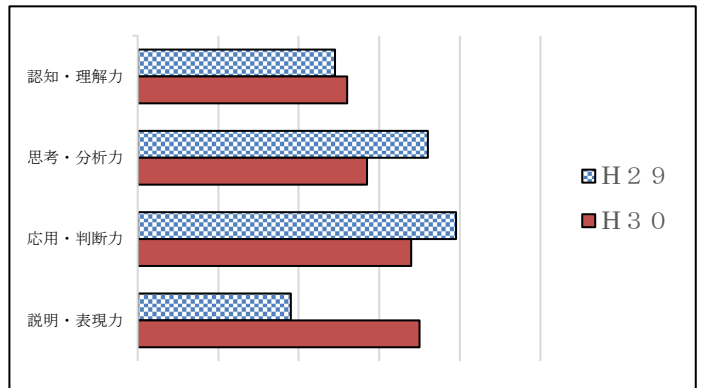


② 昨年度(同一集団である平成29年度小学校4年時)との比較

【領域別】



【能力別】



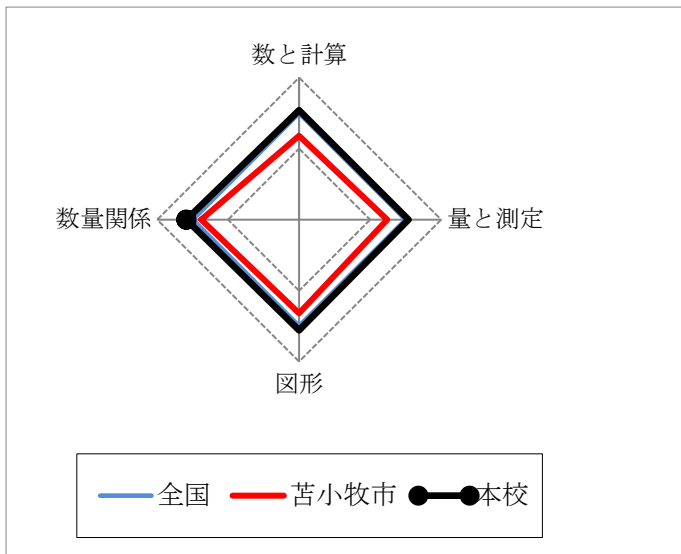
③ 考察

- 全体の偏差値平均は、全国値と同程度で、学習内容が身に付いている子が多い状況です。
- 領域別、能力別ともに、すべて全国平均と同程度となりました。
- 今後は、漢字の読み書きなど基本事項について重点的に指導するとともに、日頃の学習指導の工夫をしていきます。

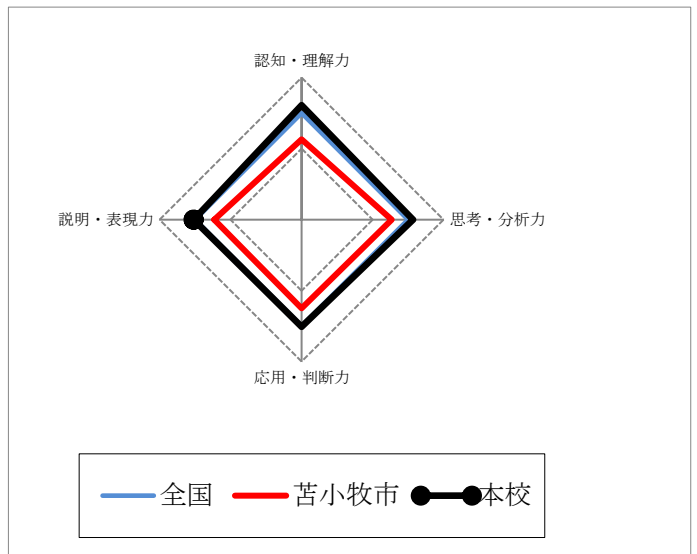
(2) 算数科

① 領域別 (※1) 及び能力別 (※2) の偏差値 SS (※3) における全国との比較

【領域別】

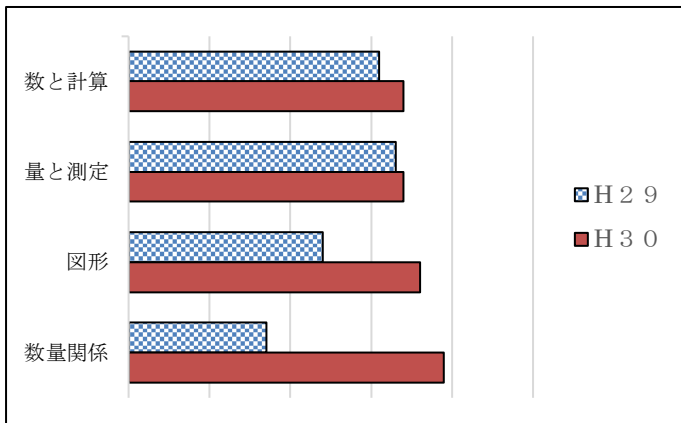


【能力別】

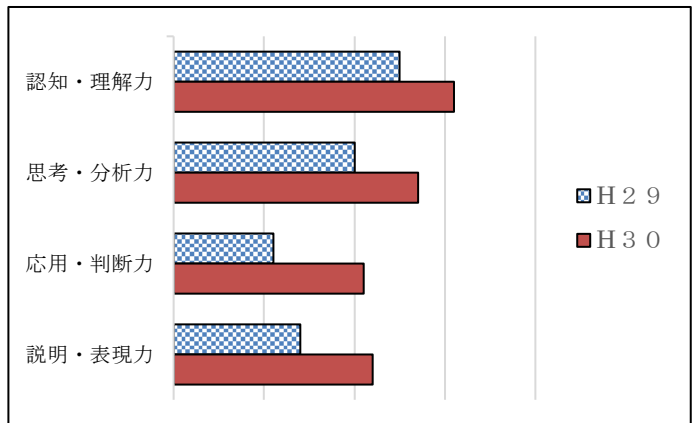


② 昨年度 (同一集団である平成29年度小学校4年時) との比較

【領域別】



【能力別】



③ 考察

- 全体の偏差値平均は、全国値と同程度で、学習内容が身に付いている子が多い状況です。
- 領域別、能力別ともに、すべて全国平均を上回りました。
- 今後も、学習内容がしっかり身に付くよう、指導方法の工夫を進めていきます。

※1 【国語】学習指導要領が示す学習内容のまとまり（話すこと・聞くこと・言語事項・読むこと・書くこと）に基づいた学力
【算数】学習指導要領が示す学習内容のまとまり（数と計算・量と測定・図形・数量関係）に基づいた学力

※2 目標準拠評価における「観点」に対応する視点から設定した学力

- 認知理解力：児童がもっている知識（情報）量とその情報に基づいて単純に判断する力や処理する能力
- 思考分析力：課題に応じて知識を関連付けながら推論して判断する基本的な力
- 応用判断力：「思考分析力」を更に発展させ、より多くの情報や条件に基づいて、総合的に推論・判断し、問題解決する力
- 説明表現力：上記の3つの能力によって導いた結論や考えを第三者に正確に、あるいはわかりやすく説明する力

※3 全国平均を50として、全体と比較し、どの程度の水準にあるかを示す数値